

地域行動編評価一覧

25年度における環境市民会議各地区の活動実績に基づき、その地区の活動実績をその地区で総括的に評価したものと、その評価に対して環境推進会議で相互に評価したものを掲載しています。

<中央地区環境市民会議での総括評価>

中央地区では、川部会・まち部会・ごみ資源エネルギー一部会が、各々目的に添った活動をしております。継続した「水質検査・大気汚染測定・自然体験講座・各種イベント参加での環境コーナーの開催」などを通して、市民の方々に啓発と情報発信を行った。

6地区全体として互いに協力できる「環境教育支援」は、「会員の知識向上や他地区会員との交流の場」としても大切な活動と考える。

また、エコひろばやNPO法人を中心とした活動は、「企画・運営・実践」と会員の知識の向上にもなるが、負担も増える中、多くの会員が参加しました。

この様な25年度でしたが、今後も「市民への啓発・情報発信」と共に、「会員同士での啓発・情報発信としての定例会」を目指していきたい。

<環境推進会議での相互評価>

各部会とも、保全活動・イベントでの啓発活動等、継続的に取り組んでいただいております。引き続き市民への情報発信に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

今後については、引き続き清掃活動・巡回パトロールなどを通じて、浅川の保全活動を進めていただき、地区内の各団体との連携した活動にしていきたいと思います。

また、省エネ教室・ごみ分別・生ごみ資源化などの情報提供・周知啓発活動、環境教育支援・自然体験講座など地域の特性を活かした環境教育・学習を推進していただきたいと思います。

<北部地区環境市民会議での総括評価>

水と大気分野では継続的に測定を実施しデータを蓄積していることから、今後の環境を検討するうえで有効と考える。みどりの整備に関して、他団体と協働で緑地保全地区の整備を行うとともに、小学校の里山体験学習の支援を進めている。

環境教育支援について、地区内の小宮小学校では他地区の方の協力を得ながら当地区の会員が中心となって3回にわたって川の学習を行った。また、他地区の小学校の学習支援にも参加した。

自然体験講座は、今年度から「春の滝山自然公園とかたらいの道散策」を加えて、年2回開催した。参加した皆さんからは「身近な自然を満喫できた」などの、感想をいただくとともに、説明方法に対するご意見もいただき、次回からの改善点として受け止めた。

環境フェスティバル等で会員の勧誘を進めるが、一般市民の増加につながらない。このような状況の中で、第7期環境学習リーダー養成講座修了者の参加があり、次年度以降の活動の展開を図りたい。

<環境推進会議での相互評価>

滝山城跡での継続的な手入れなどの保全活動は、他団体との協働により、さらに効果を高められており、引き続き進めてもらいたいと思います。

今後については、環境教育支援、自然体験講座などにより地域にある貴重な自然資源や文化、歴史を市民の皆さまに広める活動にしていきたいと思います。

また、会員の増加については6地区共通の課題として考え、第2次環境基本計画に位置付けた協働プロジェクトなどにより推進できればと思います。

＜西部地区環境市民会議での総括評価＞

河川では、「身近な水環境の全国一斉調査」に継続参加するほか、大沢川・城山川・城の越川については、川の清掃を近隣町会と協働して実施し、水質調査9ヶ所も定期的に取り組んでいる。

また、災害時の備えとして地域の「湧水水質調査」も7ヶ所を継続して行い、町会にデータを公開しつつ蓄積している。

近時、みどりの部門では「特定外来植物」5種を上げ、地域での駆逐を目指している。東京都にも協力をいただき、城山川の1Km間で毎年定期時に刈込を行い、その減少を追跡している。

当地区の浅川支流河川は、毎年小学生の自然学習（川しらべ）の場となっており、安全・清潔・安心の中で古里の自然を残していく工夫をしている。

＜環境推進会議での相互評価＞

大沢川・城山川の河川敷への不法投棄に対するクリーン活動は、地元町会と連携した活動となっており、重要な柱となっているので、環境レポートの発行などの情報提供も含め、継続的に実施していただきたいと思います。

今後については、地元との協働による活動を広めていただき、豊かな自然環境を活かした環境教育支援事業を推進していただくほか、湧水や伏流水の調査は市民にとっても重要な取り組みであり、調査結果の蓄積に努めていただきたいと考えます。

＜西南部地区環境市民会議での総括評価＞

1. 高尾山の環境変化を見るための指標樹木を観察し、また、来山者の増加で貴重な自然を失う恐れ等の問題を提起した。「高尾の里拠点施設」が「TAKAO599MUSEUM」との名称をえたことは永い間の取組みの成果と考えている。

2. エコミュージアム構想に基づき、「市街編」と「高尾編」の改訂版マップを作成し、更に「地域の宝の掘り起こし」の取組みを自然体験講座で紹介し好評を得た。

3. 池の沢館町緑地において、蛍観察会や自然体験講座を実施、また里山保全活動体験を企業向けに行い成果を得ている。小仏川沿いの駒木野地区の遊歩道を整備し、野草の保護に努めた。

4. 河川の水質検査、大気汚染測定、蛍の復活調査をし、その結果を環境フェスティバルや市民センターまつりで展示し湯殿川の清掃と川の健やかさ調査を活動に加えた。

5. レジ袋削減を目的としたマイバック店頭啓発活動への参加や、いちよう祭りでは高校生や大学生にごみの分別指導を行うなど、大きな祭りの中でごみの適正処理に関する取組みを進め、地域との交流を図った。

6. 環境教育支援として、当地区の小学校では当会の会員が中心となり支援した。

＜環境推進会議での相互評価＞

高尾山の自然調査を継続的に取り組んでおり、引き続き高尾山の良好な環境づくりのため調査・保全活動を進めてもらいたいと思います。

今後については、池の沢館町緑地の里山保全活動や観察会、エコミュージアムマップなど、貴重な自然を守り、啓発していただくとともに、ごみの分別活動など、地元町会などと連携した活動を推進していただきたいと考えます。

＜東南部区環境市民会議での総括評価＞

「夏休み浅川自然体験講座」（イカダで川下りと生き物観察）と「秋の自然体験講座」（わが街、北野、打越、長沼をめぐる）を実施したほか、近隣の方々には東南部制作のハイキングマップや街路樹マップを使い、地域の自然と歴史にふれ合ってもらえた。引き続き年3回河川清掃を行い、美しい川、親しみやすい川づくりに取り組んでいる。街の美観では、北野駅前の定期清掃の活動を継続して実施しているほか、年2回東南部地区の駅周辺のごみの数のカウントを10年継続しているが、ごみの減少が著しく、個人・各種団体の街の美化への意識向上が強く感じられる。町会と連携して北野駅周辺で、喫煙マナーアップキャンペーンを行ったほか、川の清掃も一緒に行うことができた。また長沼小学校と連携しソーラークッキングを行い、自然エネルギーの勉強を行った。生活環境の状況を把握するために大気汚染測定を継続して行うとともに、地区内3か所の市民センター祭りに参加し啓発に努めた。節電・省エネの講演会も行った。

＜環境推進会議での相互評価＞

東南部地区の6駅周辺のごみの量によるきれいさ評価は、見える化を図っており、とても有益と考えます。清掃活動やマナーアップキャンペーンと合わせ、引き続き進めてもらいたいと思います。

今後については、収集した情報を地域にフィードバックをして、更なる啓発に努めていただくほか、特色ある講座として自然エネルギーや節電・省エネ講座に取り組んでいただいているので、多くの人が受講し、意識の向上に繋がるよう進めていただきたいと思います。

＜東部地区環境市民会議での総括評価＞

自然体験講座の「春・秋の自然観察会」は、観察地域を由木地区の東側と西側に交替して実施した。里山保全活動については、指定管理者の協力を得て、堀之内寺沢里山公園・長池公園で公園アドプト活動と併せて実施したほか、特に長池里山クラブでは2月に「多摩丘陵里山連絡会」と勉強会を行った。

地区内の市民センターまつりに参加して、東部地区の活動実態をパネル展示するほか、「多摩丘陵の自然を守る会」が発行した機関誌『守っていききたい多摩丘陵の自然～30年の活動～』をとおり、この地区での30年間の自然環境の変化とその対応を市民に知ってもらい、私たちも里山保全への理解を深めていきたい。

環境浄化活動として南大沢駅周辺で行われている、年3回の「クリーンデー」への参加や、南大沢駅前の「道路アドプト」による花壇の維持管理などの地域の美化も継続しているほか、環境教育支援活動を4校で実施し、大気汚染測定や河川水質調査も継続的に行っている。

本年新たに「ダンボールコンポスト」の活用について、町会との連携を視野に入れながら講習会を開催したほか、「マイバッグ利用促進運動」についても市との連携のもと行った。

＜環境推進会議での相互評価＞

多摩丘陵の里山を守る活動や自然体験講座、パネル展示・機関誌の発行は、地域の環境を知り、意識の向上を図るために重要であり、引き続きこの活動は継続していただきたいと思います。

今後については、市と連携したダンボールコンポスト講習会の開催や環境浄化活動として地域の美化活動を引き続き行っていただくほか、地域との連携・他団体との交流を深め、活動の幅を広げていただきたいと思います。